

誠信女子大教授

ソ・ギョンドク 先生

拝啓 先般は先生よりご丁寧なお手紙をいただき、ありがとうございました。
私たち「日本の領土を守るため行動する議員連盟」は、長年にわたり竹島問題
についての調査研究を進めております。

先生のような韓国の学識者より竹島領土問題についてご意見を伺えることは、
日・韓両国の長年にわたる懸案の解決に向け大いに意義あることと存じます。

お送りいただいた竹島領有権に関する韓国側の正式な主張をまとめた資料
「10のポイント」について、日韓両国が意見交換をし、真実を確定させること
こそが私たちの願いであります。

先生からお申し出いただきましたように、是非一つ一つの見解の違いについて
丁寧に意見交換させていただきたいと考えております。今後改めてご連絡を
させていただきますので、その節にはご対応の程どうぞよろしくお願い申し上
げます。

さて、私たちはこれまで累次にわたり、竹島に上陸した韓国の国会議員に対
し、韓国側の領有権主張の根拠となる歴史事実や国際法の解釈について公開質
問状をお送りしておりますが、残念ながら一度もお返事をいただいております。

そこでこの度は、昨年竹島に上陸した二組の韓国の国会議員の方々に、「日本
側が送った公開質問への想定される韓国側の回答と、歴史と法に基づく真実の
解釈をまとめた資料」をお送りいたします。

この資料は先生からいただいた10のポイントに関連する解釈でもあります。
先生におかれましても、是非ご一読の上、ご意見などをいただければ幸いです。

日韓は隣国として長い交流の歴史を持ち、今後も良好な関係を持ち続けて行
かなければならないと真に願っております。

意見の相違があれば話し合うことが何より大切です。どうぞ今後ともよろし
くお願い申し上げます。

敬具

2019年 4月 ○日

日本の領土を守るため行動する議員連盟会長
衆議院議員 新藤義孝